

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習 I	必修	1	◎	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習 II	必修	1	◎	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力実践演習	必修	1	◎	◎	
基本科目	●	フレッシュマンセミナーA	必修	1	◎	◎	
基本科目	●	フレッシュマンセミナーB	必修	1	◎	◎	
基本科目	●	Freshman SeminarA	必修	1	◎	◎	
基本科目	●	Freshman SeminarB	必修	1	◎	◎	
基本科目	●	政策研究基礎	必修	1	△		◎
基本科目	●	政策学概論	必修	1			◎
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語A	必修	1		◎	
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語B	必修	1		◎	
基本科目	●	日本語 I A	必修	1		◎	
基本科目	●	日本語 I B	必修	1		◎	
基本科目	●	ソフォモアセミナーA	必修	2	◎	◎	
基本科目	●	ソフォモアセミナーB	必修	2	◎	◎	
基本科目	●	Sophomore Seminar A	必修	2	◎	◎	
基本科目	●	Sophomore Seminar B	必修	2	◎	◎	
基本科目	●	キャリアリサーチ	必修	2			◎
基本科目	●	政策ゼミナール I A/B (Research Seminar I A/B)	必修	3	◎	◎	
基本科目	●	政策ゼミナール I B	必修	3	◎	◎	
基本科目	●	Research Seminar I A	必修	3	◎	◎	
基本科目	●	Research Seminar I B	必修	3	◎	◎	
基本科目	●	プレゼミナール(SEP)	必修	3	◎	◎	
基本科目	●	キャリアアクション	必修	3			◎
基本科目	●	政策ゼミナール II A/B (Research Seminar II A/II B)	必修	4	◎	◎	
基本科目	●	政策ゼミナール II B	必修	4	◎	◎	
基本科目	●	Research Seminar II A	必修	4	◎	◎	
基本科目	●	Research Seminar II B	必修	4	◎	◎	
専門科目		医療福祉特講	選択	1			◎
専門科目		女性学概論	選択	2			◎
専門科目		Area Studies A(Asia-Pacific)	選択	2			◎
専門科目		Area Studies B(Europe)	選択	2			◎
専門科目		Area Studies C(America)	選択	2			◎
専門科目		International Relations	選択	2			◎
専門科目		プログラミングA	選択	2			◎
専門科目		プログラミングB	選択	2			◎
専門科目		マクロ経済政策	選択	2			◎
専門科目		ミクロ経済政策	選択	2			◎
専門科目		介護概論	選択	2			◎

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目		会社法	選択	2			◎
専門科目		観光政策	選択	2			◎
専門科目		金融システム論	選択	2			◎
専門科目		金融政策論	選択	2			◎
専門科目		医療経済学	選択	2			◎
専門科目		憲法(統治機構)	選択	2			◎
専門科目		行政学B	選択	2			◎
専門科目		国際政治外交史	選択	2			◎
専門科目		日本政治外交史	選択	2			◎
専門科目		財政学	選択	2			◎
専門科目		租税論	選択	2			◎
専門科目		社会安全政策論	選択	2			◎
専門科目		社会調査法(質的調査)	選択	2			◎
専門科目		社会調査法(量的調査)	選択	2			◎
専門科目		社会福祉概論	選択	2			◎
専門科目		社会保障論(各論)	選択	2			◎
専門科目		障害者福祉論	選択	2			◎
専門科目		食と農の経済学A	選択	2			◎
専門科目		食と農の経済学B	選択	2			◎
専門科目		地域防災政策A	選択	2			◎
専門科目		地域防災政策B	選択	2			◎
専門科目		都市社会学	選択	2			◎
専門科目		地域社会学	選択	2			◎
専門科目		文化史	選択	2			◎
専門科目		比較文化史	選択	2			◎
専門科目		文化行政論	選択	2	○	△	◎
専門科目		民法(物権)	選択	2			◎
専門科目		環境政策	選択	2			◎
専門科目		刑法総論	選択	2			◎
専門科目		国際政治(アジア)	選択	2			◎
専門科目		国際政治(欧米)	選択	2			◎
専門科目		建築基準法	選択	2			◎
専門科目		産業心理学	選択	2			◎
専門科目		人的資源管理論	選択	2			◎
専門科目		産業政策論	選択	2			◎
専門科目		産業構造論	選択	2			◎
専門科目		ジェンダー文化論	選択	2			◎
専門科目		政治学	選択	2			◎
専門科目		都市計画法	選択	2			◎

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目		労働社会学	選択	2			◎
専門科目		科学技術思想	選択	2			◎
専門科目		多文化社会論	選択	3			◎
専門科目		NPO論	選択	3			◎
専門科目		アート・マネジメント	選択	3	○	△	◎
専門科目		コミュニティ・ビジネス論	選択	3			◎
専門科目		デジタルガバメント論	選択	3	○		◎
専門科目		デジタルビジネス論	選択	3	○		◎
専門科目		医事法制	選択	3			◎
専門科目		公共経済学	選択	3			◎
専門科目		公立文化施設論	選択	3	○	△	◎
専門科目		行政法A	選択	3			◎
専門科目		行政法B	選択	3			◎
専門科目		国際法(総論)	選択	3			◎
専門科目		国際法(各論)	選択	3			◎
専門科目		国際社会福祉論	選択	3			◎
専門科目		アジアの社会と福祉	選択	3			◎
専門科目		社会福祉施設経営	選択	3			◎
専門科目		社会保障財政(総論)	選択	3			◎
専門科目		社会保障財政(各論)	選択	3			◎
専門科目		社会保障法	選択	3			◎
専門科目		商法	選択	3			◎
専門科目		まちづくり論	選択	3			◎
専門科目		地域活性化論	選択	3			◎
専門科目		地域金融論	選択	3			◎
専門科目		民法(債権各論)	選択	3			◎
専門科目		民法(債権総論)	選択	3			◎
専門科目		労働法	選択	3			◎
専門科目		医療福祉経営	選択	3			◎
専門科目		応用AIプログラミング	選択	3			◎
専門科目		金融データ分析	選択	3			◎
専門科目		刑法各論	選択	3			◎
専門科目		計量経済分析入門	選択	3			◎
専門科目		ゲーム理論とAI	選択	3			◎
専門科目		ゲーム理論	選択	3			◎
専門科目		社会科学におけるデータサイエンス	選択	3			◎
専門科目		社会心理学	選択	3			◎
専門科目		行動経済学	選択	3			◎
専門科目		政策過程論	選択	3			◎

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目		政策デザイン論	選択	3			◎
専門科目		政策分析論	選択	3			◎
専門科目		政策評価論	選択	3			◎
専門科目		知的財産法	選択	3			◎
専門科目		地方財政A	選択	3			◎
専門科目		地方財政B	選択	3			◎
専門科目		地方自治論	選択	3	△	○	◎
専門科目		都市経済論A	選択	3			◎
専門科目		都市経済論B	選択	3			◎
専門科目		リスクマネジメント論	選択	3			◎
専門科目		外交政策	選択必修	2			◎
専門科目		マクロ経済理論	選択必修	2			◎
専門科目		ミクロ経済理論	選択必修	2			◎
専門科目		憲法(基本的人権)	選択必修	2			◎
専門科目		行政学A	選択必修	2			◎
専門科目		国際関係論入門	選択必修	2			◎
専門科目		福祉政策	選択必修	2			◎
専門科目		社会保障論(総論)	選択必修	2			◎
専門科目		地域政策	選択必修	2			◎
専門科目		文化政策	選択必修	2	△	○	◎
専門科目		民法(総則)	選択必修	2			◎
専門科目		情報リテラシー論	選択必修	2	○		◎
専門科目		情報通信政策論	選択必修	2	○		◎
専門科目		公共政策学	選択必修	3			◎
専門科目		芸術・文化遺産政策	選択必修	3			◎
専門科目		交通政策	選択必修	3			◎
関連科目		日本語 I C	選択	1		◎	
関連科目		日本語 I D	選択	1		◎	
関連科目		コンピュータ・リテラシー	選択	1			◎
関連科目		生命と医療A	選択	1			◎
関連科目		生命と医療B	選択	1			◎
関連科目		English Communication IA	選択	1		◎	
関連科目		English Communication IB	選択	1		◎	
関連科目		インターンシップ I	選択	1			◎
関連科目		英語集中トレーニングA	選択	1		◎	
関連科目		英語集中トレーニングB	選択	1		◎	
関連科目		Oral English IA	選択	1		◎	
関連科目		Oral English IB	選択	1		◎	
関連科目		海外研修 I	選択	1		◎	

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		海外研修Ⅱ	選択	1		◎	
関連科目		海外研修Ⅲ	選択	1		◎	
関連科目		海外研修Ⅳ	選択	1		◎	
関連科目		会計基礎A	選択	1			◎
関連科目		会計基礎B	選択	1			◎
関連科目		家族と法(民法入門)	選択	1			◎
関連科目		課題解決演習ⅠA	選択	1			◎
関連科目		課題解決演習ⅠB	選択	1			◎
関連科目		スポーツ経営論	選択	2			◎
関連科目		スポーツ産業論	選択	2			◎
関連科目		宅建特殊演習A	選択	2			◎
関連科目		宅建特殊演習B	選択	2			◎
関連科目		不動産学A	選択	2			◎
関連科目		不動産学B	選択	2			◎
関連科目		不動産法規特殊演習A	選択	2			◎
関連科目		不動産法規特殊演習B	選択	2			◎
関連科目		健康スポーツ生理学概論	選択	2			◎
関連科目		ビジネス英会話A	選択	3		◎	
関連科目		ビジネス英会話B	選択	3		◎	
関連科目		政策研究の基礎数学	選択必修	1			◎
関連科目		政治学基礎	選択必修	1			◎
関連科目		基礎経済学	選択必修	1			◎
関連科目		情報学概論	選択必修	1	○		◎
関連科目		法学学の学び方	選択必修	1			◎
関連科目		社会思想概論	選択必修	1			◎
関連科目		からだのメカニズムA	選択	1			◎
関連科目		からだのメカニズムB	選択	1			◎
関連科目		韓国語ⅠA	選択	1		◎	
関連科目		韓国語ⅠB	選択	1		◎	
関連科目		企業と法(商法入門)	選択	1			◎
関連科目		日本経済論	選択	1			◎
関連科目		社会学の考え方	選択	1			◎
関連科目		基礎社会学	選択	1			◎
関連科目		基礎心理学	選択	1			◎
関連科目		組織行動の心理学	選択	1			◎
関連科目		教養英語A	選択	1		◎	
関連科目		教養英語B	選択	1		◎	
関連科目		グローバル社会と女性	選択	1			◎
関連科目		経済史入門	選択	1			◎

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		ゲーム理論入門	選択	1			◎
関連科目		健康スポーツⅠA	選択	1			◎
関連科目		健康スポーツⅠB	選択	1			◎
関連科目		健康スポーツⅡA	選択	1			◎
関連科目		健康スポーツⅡB	選択	1			◎
関連科目		現代社会と法(国際法を含む)	選択	1			◎
関連科目		現代社会と法(日本国憲法)	選択	1			◎
関連科目		現代日本の社会経済システム	選択	1			◎
関連科目		現代の地域紛争A	選択	1			◎
関連科目		現代の地域紛争B	選択	1			◎
関連科目		国際インターンシップⅠ	選択	1			◎
関連科目		国際グローバル研修	選択	1			◎
関連科目		資格英語ⅠA	選択	1		◎	
関連科目		資格英語ⅠB	選択	1		◎	
関連科目		資格英語ⅡA	選択	1		◎	
関連科目		資格英語ⅡB	選択	1		◎	
関連科目		資格英語ⅢA	選択	1		◎	
関連科目		資格英語ⅢB	選択	1		◎	
関連科目		自校史研究	選択	1			◎
関連科目		職業生活と法(労働法入門)	選択	1			◎
関連科目		女性とキャリアデザイン	選択	1			◎
関連科目		女性とダイバーシティ	選択	1			◎
関連科目		スペイン語A	選択	1		◎	
関連科目		スペイン語B	選択	1		◎	
関連科目		スポーツコーチング実践A	選択	1			◎
関連科目		世界の中の日本A	選択	1			◎
関連科目		世界の中の日本B	選択	1			◎
関連科目		地域と大学	選択	1			◎
関連科目		チェコ語A	選択	1		◎	
関連科目		チェコ語B	選択	1		◎	
関連科目		中国語ⅠA	選択	1		◎	
関連科目		中国語ⅠB	選択	1		◎	
関連科目		中国語集中トレーニングⅠA	選択	1		◎	
関連科目		中国語集中トレーニングⅠB	選択	1		◎	
関連科目		哲学入門(概説)	選択	1			◎
関連科目		哲学入門(発展)	選択	1			◎
関連科目		データサイエンス入門	選択	1			◎
関連科目		ドイツ語ⅠA	選択	1		◎	
関連科目		ドイツ語ⅠB	選択	1		◎	

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		統計学入門	選択	1			◎
関連科目		日常生活と法(民法入門)	選択	1			◎
関連科目		日本文化論	選択	1	○	△	◎
関連科目		Public Communication I A	選択	1		◎	
関連科目		Public Communication I B	選択	1		◎	
関連科目		ハンガリー語A	選択	1		◎	
関連科目		ハンガリー語B	選択	1		◎	
関連科目		犯罪と法(刑法入門)	選択	1			◎
関連科目		比較経済史	選択	1			◎
関連科目		フランス語 I A	選択	1		◎	
関連科目		フランス語 I B	選択	1		◎	
関連科目		文化研究 I	選択	1			◎
関連科目		文化研究 II	選択	1			◎
関連科目		ポーランド語A	選択	1		◎	
関連科目		ポーランド語B	選択	1		◎	
関連科目		ボランティア I	選択	1			◎
関連科目		マレー語A	選択	1		◎	
関連科目		マレー語B	選択	1		◎	
関連科目		留学英語A	選択	1		◎	
関連科目		留学英語B	選択	1		◎	
関連科目		論理的思考法 I A	選択	1			◎
関連科目		論理的思考法 I B	選択	1			◎
関連科目		現代日本の経済事情(SEP)	選択	1			◎
関連科目		現代日本の法と政治(SEP)	選択	1			◎
関連科目		国際社会入門	選択	1			◎
関連科目		機能的解剖学概論	選択	2			◎
関連科目		健康マネジメント概論	選択	2			◎
関連科目		健康スポーツ心理学	選択	2			◎
関連科目		Oral English II A	選択	2		◎	
関連科目		Oral English II B	選択	2		◎	
関連科目		English Communication II A	選択	2		◎	
関連科目		English Communication II B	選択	2		◎	
関連科目		インターンシップ II	選択	2			◎
関連科目		課題解決演習 II A	選択	2			◎
関連科目		課題解決演習 II B	選択	2			◎
関連科目		韓国語 II A	選択	2		◎	
関連科目		韓国語 II B	選択	2		◎	
関連科目		健康スポーツ III A	選択	2			◎
関連科目		健康スポーツ III B	選択	2			◎

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		国際インターンシップⅡ	選択	2			◎
関連科目		国際政策研修	選択	2			◎
関連科目		個人情報保護法	選択	2			◎
関連科目		数理的思考法ⅠA	選択	2			◎
関連科目		数理的思考法ⅠB	選択	2			◎
関連科目		スポーツ医学	選択	2			◎
関連科目		健康スポーツ栄養マネジメント論	選択	2			◎
関連科目		スポーツコーチングⅠA	選択	2			◎
関連科目		スポーツコーチングⅠB	選択	2			◎
関連科目		体カトレニング論	選択	2			◎
関連科目		スポーツコーチング実践B	選択	2			◎
関連科目		中国語ⅡA	選択	2		◎	
関連科目		中国語ⅡB	選択	2		◎	
関連科目		中国語集中トレーニングⅡA	選択	2		◎	
関連科目		中国語集中トレーニングⅡB	選択	2		◎	
関連科目		地理学A(地誌を含む)	選択	2			◎
関連科目		地理学B	選択	2			◎
関連科目		ドイツ語ⅡA	選択	2		◎	
関連科目		ドイツ語ⅡB	選択	2		◎	
関連科目		日本語ⅡA	選択	2		◎	
関連科目		日本語ⅡB	選択	2		◎	
関連科目		ビジネスと資格	選択	2			◎
関連科目		フランス語ⅡA	選択	2		◎	
関連科目		フランス語ⅡB	選択	2		◎	
関連科目		ボランティアⅡ	選択	2			◎
関連科目		論理的思考法ⅡA	選択	2			◎
関連科目		論理的思考法ⅡB	選択	2			◎
関連科目		スポーツ・マネジメント概論	選択	2			◎
関連科目		運動処方論	選択	3			◎
関連科目		インターンシップⅢ	選択	3			◎
関連科目		外国史概説	選択	3			◎
関連科目		課題解決演習ⅢA	選択	3			◎
関連科目		課題解決演習ⅢB	選択	3			◎
関連科目		機械学習とAI	選択	3			◎
関連科目		国際インターンシップⅢ	選択	3			◎
関連科目		国際経済論A	選択	3			◎
関連科目		国際経済論B	選択	3			◎
関連科目		数理的思考法ⅡA	選択	3			◎
関連科目		数理的思考法ⅡB	選択	3			◎

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		スポーツコーチング実践C	選択	3			◎
関連科目		データサイエンス特別講義 I	選択	3			◎
関連科目		データサイエンス特別講義 II	選択	3			◎
関連科目		データサイエンスと数理統計	選択	3			◎
関連科目		トレーニング指導法実習	選択	3			◎
関連科目		西洋哲学概説	選択	3			◎
関連科目		東洋哲学概説	選択	3			◎
関連科目		日本史概説A	選択	3			◎
関連科目		日本史概説B	選択	3			◎
関連科目		日本語特殊演習 I A	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 I B	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 II A	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 II B	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 III A	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 III B	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 IV A	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 IV B	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 V A	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 V B	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 VI A	選択	3		◎	
関連科目		日本語特殊演習 VI B	選択	3		◎	
関連科目		ボランティアⅢ	選択	3			◎
関連科目		倫理学概説A	選択	3			◎
関連科目		倫理学概説B	選択	3			◎
関連科目		インターンシップⅣ	選択	4			◎
関連科目		課題解決演習ⅣA	選択	4			◎
関連科目		課題解決演習ⅣB	選択	4			◎
関連科目		国際インターンシップⅣ	選択	4			◎
関連科目		ボランティアⅣ	選択	4			◎
自由科目		教職論	選択	1			◎
自由科目		教育学概論A	選択	1			◎
自由科目		教育課程論(総合的な学習・探究)	選択	1			◎
自由科目		スポーツバイオメカニクス	選択	2			◎
自由科目		生徒指導	選択	2			◎
自由科目		教育心理学	選択	2			◎
自由科目		教育史	選択	2			◎
自由科目		学校と図書館	選択	2			◎
自由科目		ジェンダー・教育・ダイバーシティ	選択	2			◎
自由科目		特別支援教育	選択	2			◎

カリキュラム・マップ2024【現代政策学部・社会経済システム学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、国際社会や地域社会の一員としての倫理観・責任感を身につけ、常に社会の課題とニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを身につけている。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていく“協創”を通して、社会や文化の発展のために課題の発見と解決を目指す志を有している。また、異文化を理解しコミュニケーションを取れる語学力の基礎を有している。
DP3	自らの人間形成の基礎と、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを培うために、政策学を中軸として複数の主要分野(政治、法律、経済、文化、地域、国際、福祉、情報)を横断的に履修して専門知識や技能を修得し、併せて幅広い教養や思考力・判断力を身につけている。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
自由科目		道徳教育の理論と指導法	選択	2			◎
自由科目		教育学概論B	選択	2			◎
自由科目		スチューデントインターンシップ I	選択	2			◎
自由科目		スチューデントインターンシップ II	選択	2			◎
自由科目		教育方法及びICT指導法	選択	2			◎
自由科目		教育相談	選択	3			◎
自由科目		介護等体験実習	選択	3			◎
自由科目		特別活動論	選択	3			◎
自由科目		社会科教育法A	選択	3			◎
自由科目		社会科教育法B	選択	3			◎
自由科目		公民科教育法A	選択	3			◎
自由科目		公民科教育法B	選択	3			◎
自由科目		教育実習 I	選択	4			◎
自由科目		教育実習 II	選択	4			◎
自由科目		教職実践演習(中・高)	選択	4			◎